

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.0	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43			3.7	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				3.1	0.50			3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:塗床 20年、壁・天井:鋼板パネル 40年		5.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		多湿排気、屋外露出ダクトにステンレス、ガルバニウムダクトを採用		4.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水SUS(C)、汚水排水VP(B)、雑排水VVP(B)、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.2	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備		通信の多様化、精密機器の地上への設置、無停電装置の計画		4.0	0.20				

3 対応性・更新性			4.2	0.50	-	-	4.2	
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-		
1	階高のゆとり	平均階高 3.9m以上	5.0	0.60	-	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.1未満	5.0	0.40	-	-		
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-		
			床積載荷重: 4500N/m ² 以上					
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕可能	5.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.5	
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.77	5.0	0.20	-	5.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.58	5.0	0.50	-	5.0	
4 効率的運用				2.0	0.20	-	2.0	
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-	-		
4.2	運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			節水コマ、自動水栓、省水型機器等を主要水栓の過半に採用		4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル系床材(床仕上)、ボード(天井仕上)、断熱材(スラブ断熱)		5.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			S造で内装材と設備が錯綜せず容易に取り外し可能、OAフロア採用		5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率80%	3.8	0.33	-	3.8	
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制	駐輪・駐車スペースの確保、荷捌き用駐車スペースの確保、駐車場への導入路を複数計画	5.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの種類や量を推計、室内にゴミの分別可能なスペース、生ゴミ処理機、ビン類の減量化対策を計画	4.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	0.33	-	-		
2	振動		3.0	0.33	-	-		
3	悪臭		3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		-	-	-	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリスト「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		
